

日清食品カップ 令和6年神奈川県小学生陸上競技交流大会競技者注意事項 24.3.27

- 1 規 則 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び全国小学生大会の競技方法、運営方法に順じて実施する。ただし、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技・運営をする。
- 2 練 習 練習は練習場または指定された場所を利用すること。
- 3 プロ訂正 プログラムのナンバーカードや氏名等に記載誤りがあった場合は、午前8時30分までに、受付に申し出ること。
- 4 招 集 (1)招集所は、100mスタート地点後方に設ける。(朝の受付とは別になる)
(2)出場者は自分の出場する種目ごとに、プログラム記載の招集時間内に招集所で自分の名前にチェックし、レーン表示腰ナンバーカードを受け取り、右腰後方に付ける。(安全ピンは招集所で用意する。)
(3)招集時間はトラック種目:競技開始35分前から20分前まで、フィールド種目:45分前から30分前まで。時間に遅れない様にする。その後、競技者係審判員の指示に従うこと。
- 5 退 場 競技役員の指示に従って退場すること。
- 6 アスリートビブス(1)アスリートビブスは受付時に配布する。今大会に限りアスリートビブスは返却しない。
(2)安全ピン(今大会では、アスリートビブス用安全ピンは普及部で用意する。レーン表示腰ナンバーカード用4本は招集所で普及部が用意する。競技終了後返却する)
(3)アスリートビブスは胸と背に配布時の状態で1枚ずつ確実につけること。
(4)トラック種目出場者はレーン表示ナンバーを腰部分の体側右後方につけること。
*レーン表示腰ナンバーカードは招集所にて配付。各レース後、安全ピンと一緒に普及部員が回収する。
- 7 リレー競技 リレー競技に出場するチームは「リレーオーダー用紙」1部を、午前9時までに提出すること。チーム責任者は忘れずに提出すること。(用紙は100mスタート側スタンド下、競技者係にある。提出も同じ場所)
- 8 競技方法 (1)計 時 トラック種目は写真判定で行う。
(2)リレー バトンの受け渡しは、30mのリレーゾーン内で行う。次走者はゾーン内でスタートしなければならない。男女の走る順序は自由とする。
(3)ス タ ー ト ①トラック種目のスタートはクラウチングスタートとする。スターティングブロックは使用しなくても良い。
②スタートはイングリッシュコールで行う。また、不正出発に関するルールは、旧ルールで行い、同一競技者が2回不正出発を行った場合は失格とする。ただし、退場ではなく、オープン出場とする。(そのまま競技は続けるが、順位はなし、次ラウンドへの出場権もなし、記録のみ測定する扱いとする。)
(4)スパイク スパイクの使用を認める(ピンの長さは、トラック7mm以下、フィールド9mm以下)。スパイクは使用しなくてもよい。競技用シューズ規則(靴底規則)については適用しない。なお、素足での出場は認めない。雨天時はスパイクの使用が望ましい。
(5)走幅跳・ジャベリックボール投
①試技回数は2回とする。
②2ラウンド試技で行う。
③ジャベリックボール投は、競技場で準備されたものを使用する。個人での持ち込みは不可。やり投げ用ピットを使用し、助走は15m以内とする。競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボールの先端につけてボール本体を持ちオーバーハンドスローで投げる。

- (6) 80mH 小学生の場合は小学生用ハードルを使用し、次の規定で行う。

スタートから第1ハードル	ハードルの高さ	ハードル間の距離	台数	最終ハードルからフィニッシュ
13m	70cm	7m00cm	9台	11m00cm
0m ~13m ~20m ~27m ~34m ~41m ~48m ~55m ~62m ~69m ~80m				

(7) 走高跳

- ①跳躍方法は、はさみ跳びで行う。着地は必ず足裏から着地する。足裏以外で着地した場合は無効試技とする。また、試技は各高さ2回、終2回連続で失敗したら競技了とする。バーの上げ方は次の通りとする。(男女とも同じ)

走高跳びのバーの上げ方

練習	試 技							
1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	以後3cm刻みで上げる

9 リレーチームについて 全国大会の大会要項より抜粋

○リレーチームの編成は、都道府県で開催される“日清食品カップ”(都道府県)小学生陸上競技交流大会(以下、都道府県大会)に参加した時点でのリレーチームであり、大会主催者の承認なしに、メンバー変更等は認められない。また、全国大会は6名でのエントリーが可能であり(編成にあたっては、男女3名ずつとする)、都道府県大会にはできるだけ6名でのエントリーが望ましい。最終選考後の追加エントリーは認められない。

○リレーメンバーのうち、1名でも他種目に回った場合、そのリレーチームは全国大会への出場資格を失う。

10 記録証 記録証は、競技出場者全員に授与する。記録証は各チーム代表者が浄書すること。

11 等級章 小学生で神奈川陸協の「神奈川小学生陸上運動等級記録」に達した場合は、当日中に申請し確認した者には、等級別ワッペンを交付する。コンバインドA・Bの記録は、単独種目と同等の扱いとして、等級表の対象とする。(詳細についてはプログラムを参照)

12 表彰 1位～8位入賞者には賞状を授与する。1位～3位にメダルを授与し表彰式を行う予定。

13 その他

- (1) 試技およびレーン順は、主催者が公平に決める。(大会プログラム参照)
- (2) トラック内での練習は、原則として次の通りとする。バックストレート側、7・8レーンハードル練習、6・5レーンスピード・リレー練習、3・2・1レーン周回。ホームストレート側、5～8スピード練習、3・2・1レーン周回練習とする。使用できる時間に制限があるので係員の指示に従う事。
- (3) 傷害等の事故が発生した場合は、各登録クラブチームの責任者は状況把握の上、本人または保護者同伴にて大会本部に申し出ること。
- (4) ゴミは各自で持ち帰る。貴重品等は各自の責任で管理すること。
- (5) 本大会の各種目優勝者の中から日清食品カップ全国小学生陸上競技交流大会出場選手を選考する。全国小学生陸上競技交流大会出場の正式な選手選考は、神奈川陸上競技協会普及部で原案を作成し代表選手等選考委員会及び理事会にて承認し決定する。
- (6) 競技順序、競技日程及び競技のリザルトは県陸協ホームページを参照のこと。(リザルトは大会終了後2～3週間で掲載する)
- (7) 映像・動画・画像の二次使用について
本大会主催者及び日本陸上競技連盟いずれかが認めた報道機関や大会の協賛・後援の各団体が撮影した大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を、主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会ポスター・プログラム・パンフレット・大会報告等への使用、およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。
- (8) 小雨決行。判断がつかぬ時は、当日の朝、午前6時00分～6時30分の間に、各クラブ代表が神奈川陸上競技協会普及部長・小出敏之(090-4379-0458)まで問い合わせること。